

🔄 いるま

No.186

平成31年3月  
定例会号  
2019年5月1日発行

市議会

だより



### 3月定例会

40議案を審議	2 P
定例会議決結果	3 P
平成31年度予算	4 P
14名が一般質問	8 P
市民の声	16 P



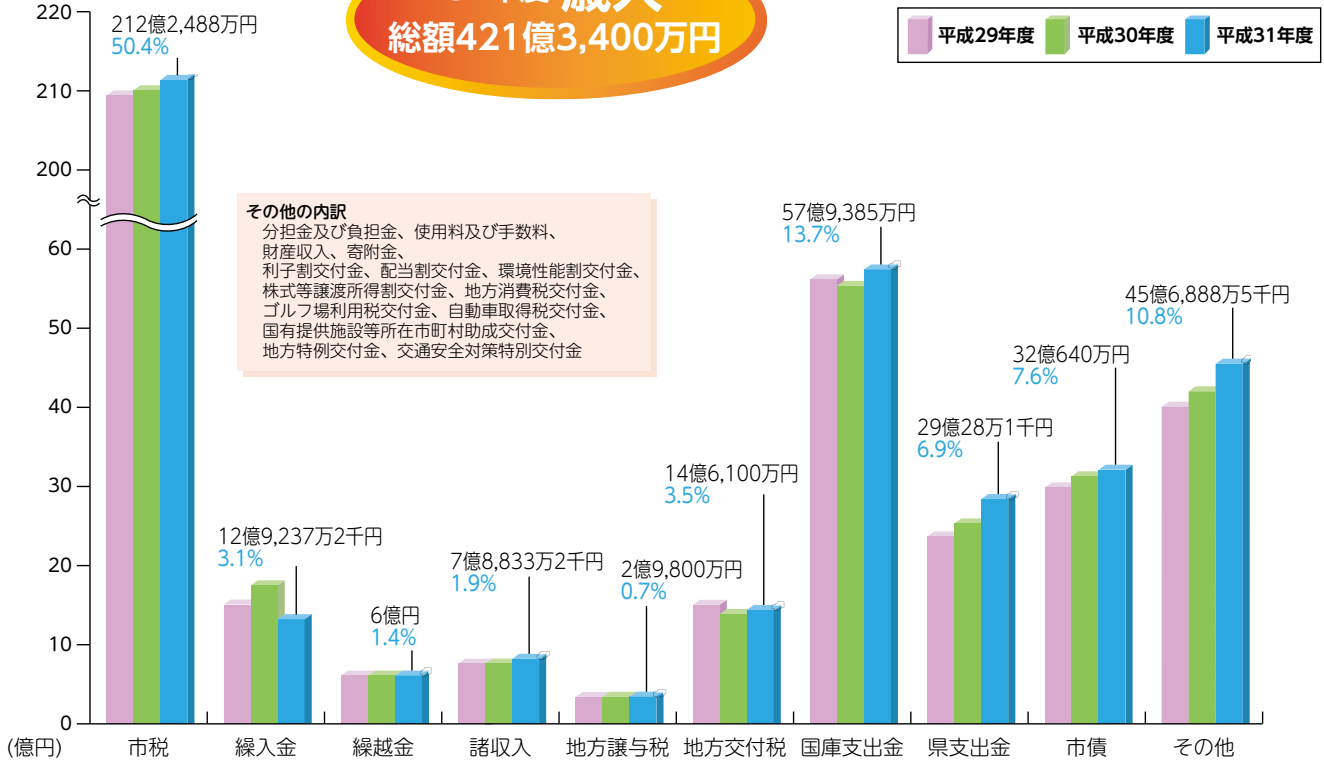


# 平成31年度予算の内容をチェック

自主財源252億1,146万9千円 (59.8%) 依存財源169億2,253万1千円 (40.2%)

市税負担額 市民1人あたり 14万2,984円  
1世帯あたり 32万4,967円

31年度 歳入  
総額421億3,400万円



## 平成31年度入間市特別会計予算一覧表

会計名	予算額	前年度比較増減率 (%)
国民健康保険特別会計	152億1,280万9千円	△1.4
後期高齢者医療特別会計	18億4,244万8千円	3.5
介護保険特別会計	106億9,588万5千円	8.8
武蔵藤沢駅周辺土地区画整理事業特別会計	1億5,800万円	60.4
入間市駅北口土地区画整理事業特別会計	7億1,800万円	35.0
扇台土地区画整理事業特別会計	5億5,600万円	7.8
総額	291億8,314万2千円	3.4

※狭山台土地区画整理事業特別会計につきましては、換地処分公告により事業完了しました。

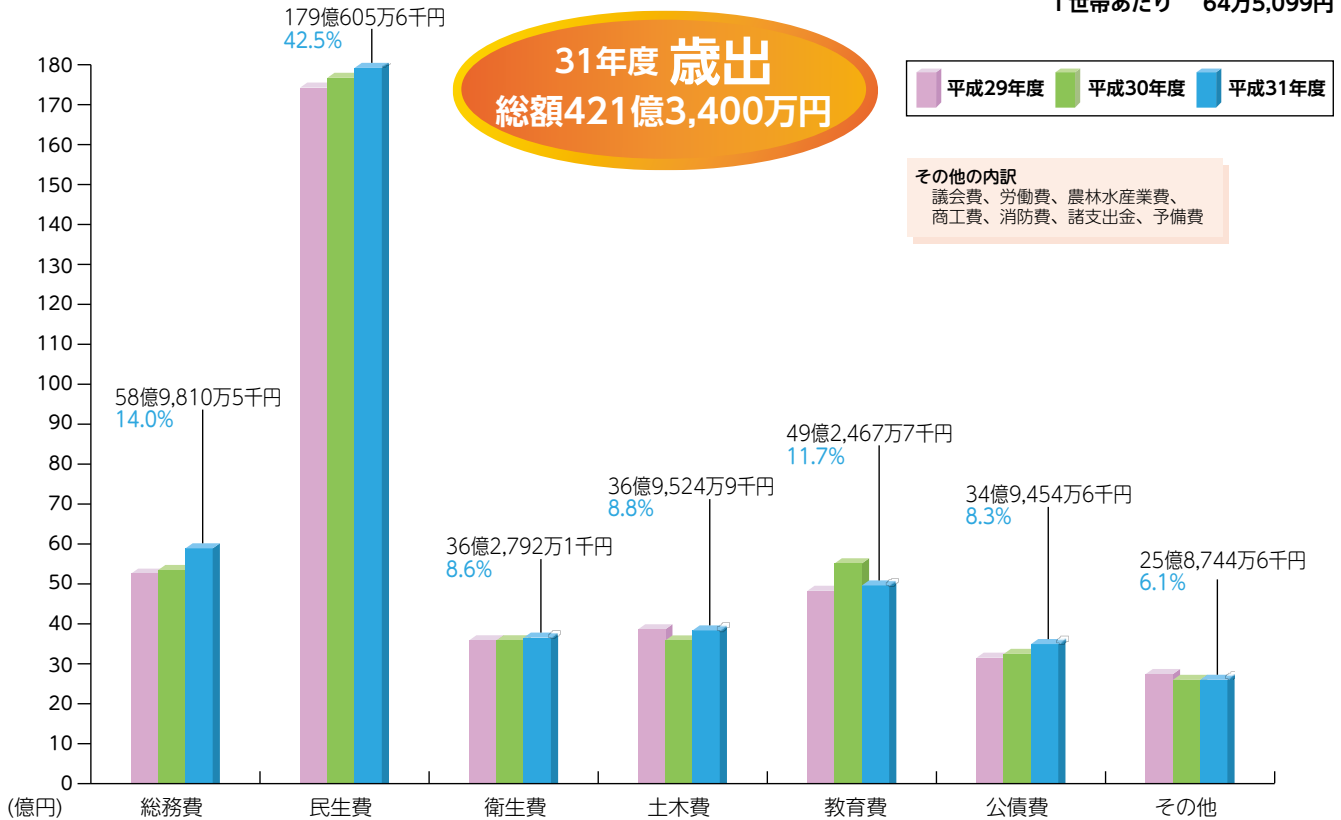
# 一般会計 予算

平成31年度の一般会計当初予算は、前年度対比2.0%増となりましたが、市長から施政方針として、以下の趣旨の提案理由が説明されました。

歳入において市税や各種交付金が増額となるものの、行政水準を維持し必要な施策を推進するためには、引き続き財源不足となる見込みであります。このため、市債を活用し、さらに、財政調整基金からの繰り入れにより財源不足の調整を図りました。歳出では、事業の必要性、緊急性、優先性などを考慮し編成しました。

平成31年1月1日現在 人口148,442人 世帯数65,314世帯

市民1人あたり 28万3,842円  
1世帯あたり 64万5,099円



## 総務費

ジョンソン基地跡地留保地  
(駅前側) 利用事業

573万円

事業概要 (要約)

入間市駅南口交通広場と馬頭坂線  
を結ぶ道路の整備に向けて測量を  
実施。



産業文化センターホール等  
改修事業

4億2,402万円

事業概要 (要約)

平成31、32年度(2020年度)  
の継続事業としてホール等の  
改修工事を実施。



## 民生費

地域子ども・子育て支援事業

9,294万円

事業概要 (要約)

地域子育て支援拠点事業として、  
西武地区に地域子育て支援拠点を  
一カ所増設する。

## 土木費

同居・近居促進事業

716万円

事業概要 (要約)

親子世帯の同居・近居を促進し、子育て、介護等の  
共助を推進するとともに、若年世帯の転入及び定住  
の促進を図るため、住宅の新築、購入、増改築の費  
用の一部を助成する。(新築または購入：最大補助  
額80万円)(増改築：最大補助額50万円)



※一般会計予算の概要より(千円以下四捨五入)

# 討 論

## 一般会計・特別会計

### 反対

#### 日本共産党入間市議団

##### 一般会計討論

施政方針では「経済の好循環が続き、地域経済の景気回復に期待する」としているが、前回消費税増税以来、家計消費も実質賃金も大幅下落し、社会保障大幅削減で市民生活は、厳しさを増している。消費税増税を進める国の経済政策は期待できないことは明らか。国へ市民の暮らしを守る施策への転換を求め、今こそ国の悪政の防波堤になるべき。学校などの統廃合は市民の理解を得られていない。ジョンソン基地跡地への自衛隊員を海外の戦場に送るための病院、有事の際の人員物資の集積施設の建設推進は認められない。

平成31年度一般会計・特別会計の予算について賛成・反対の討論をしました。各会派の討論の概要を掲載します。

討論の詳細内容は、市ホームページの「会議録検索」ページをご覧ください。（本定例会の会議録は次回定例会開会までに掲載する予定です）

### 賛成

#### 自由民主党入間市議団

##### 一般会計討論

歳入では、市税・普通交付税等が全体として増額。景気回復を反映した見込み額で、国庫補助金も積極的な活用が図られている。歳出では、市民にとっての必要度・優先度を考慮し、事業の重点化を図り、不足する財源を財政調整基金から繰り入れている。不老川の緊急治水対策事業では、市民の安全・安心を目指している。公共施設マネジメントでは、将来の財政負担に資するため、整備基金に2億円の積み立てを計上。新たな取り組みとしては、若者の定住推進、親子の同居・近居促進、子育て世代の移住促進があり、各施策を期待し賛成する。

### 賛成

#### 公明党入間市議団

##### 一般会計討論

新年度予算には、多数の公明党市議団の提案要望を実現していただき感謝する。新規事業のうち①基地跡地入間市駅前側の事業の着手を評価。街づくり構想の早期策定を要望。②原付ご当地ナンバーは広報の充実を期待。③防災行政無線デジタル化は難聴地域の解消策を要望。④空き家対策として条例の早期策定を望む。⑤同居・近居促進事業は先進事例の調査研究を望む。新元号となる平成31年度は新しい時代にふさわしく、前例踏襲を廃し積極的な行財政改革で市民の信頼に応える市政運営を希望し、賛成の討論とする。

### 賛成

#### 民 進 の 会

##### 一般会計討論

前年度対比2.0%増の、過去最大であった前年度を上回る最大規模の予算となっており厳しい財政状況である。歳出では、扶助費が増額する中で「元気な子どもが育つまち」を目指し、学童保育事業等の子ども・子育て関連事業の充実など、市民にとっては緊急度、必要度、優先度等を考慮し、事業の重点化を図った予算であることがうかがえる。市長のリーダーシップのもと、将来を見据え、各事業の計画的な執行により、今後も安定的で健全な財政運営を期待し、賛成討論とする。

### 賛成

#### 市民フォーラム

##### 一般会計討論

歳入については、財政調整基金から11億8,000万円を繰り入れている。中期財政計画と大きな齟齬が生じているが、策定当時、想定されなかった事業や増額による推進を図るため、やむを得ないものと考え。歳出については、限られた財源の中で、第6次総合計画の「みんなでつくる住みやすさが実感できるまちいるま」に向けて、事業の継続・推進を図る一方、新規施策を展開していることを評価するものである。財政調整基金が危機的状況に陥りつつある。田中市長のリーダーシップの下で行政改革が進むことを期待する。

## 反対

### 日本共産党入間市議団

#### 特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

国保は低所得世帯が多く加入しているが、協会けんぽに比べ異常に高い保険税で、国保の構造的問題となっている。滞納すれば厳しい取り立てが待っている。減免制度の拡充こそ必要。市は一般会計からの繰入れで保険税値上げを避けるべき。全国知事会は国に1兆円の公費投入を求めている。市民の健康と命を守るため、抜本的解決を国に求めるべき。以上の理由から反対である。

(後期高齢者医療特別会計)

この制度は高齢者に際限ない負担を押し付けるもの。制度導入時に国民の大きな怒りをかい政府は軽減措置を導入したが、H29年度から段階的に廃止。さらに今年10月から低所得者への軽減措置が段階的に廃止される予定である。本来、国民の健康と命を守るための医療保険が高齢者の暮らしを苦しめている。以上の理由から反対である。

## 賛成

### 自由民主党入間市議団

#### 特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

歳入では、加入者の減少等により、保険税は前年度比4.5%の減額を見込んでいるが、国保財政調整基金から3億7千500万円を繰り入れており、国保加入者への配慮がある。

歳出では、保険給付費が増額となり、埼玉県への国保事業費納付金は前年度比0.6%の増額で、国保財政は依然として厳しい。

県との更なる連携を図り、医療費削減に向けた保険事業と、税負担の公平に配慮する安定的な事業展開を要望し、賛成する。

(後期高齢者医療特別会計)

歳入は、保険料の軽減措置に伴う保険基金安定繰入金及び事務繰入金为主。歳出は、県広域連合への納付金、徴収事務費用など。

10月から、低所得者に対する均等割の特例軽減措置が縮小・廃止されるが、制度の継続のためやむを得ない。本予算は制度維持・運営に適正なものとして判断し、賛成する。



## 賛成

### 公明党入間市議団

#### 特別会計討論

(国民健康保険特別会計)

平成31年度の税率改定見送りと国保広域化、さらに国による全国の国保会計支援3千400億円は評価。国保税滞納世帯や納付困難世帯には丁寧な対応を望む。賦課限度額の引き上げの影響は高所得者層のみであり、応能負担の原則から財政の安定に必要な措置。給付費の抑制に向け、公明党入間市議団が提案してきた、がん検診受診率向上策や人工透析予防のための糖尿病性腎症重症化予防事業等の早期の実現を求め賛成。

(後期高齢者医療特別会計)

制度開始より11年経過し制度移行時の激変緩和策としての特例軽減の段階的廃止は理解できる。但し支払い困難の方には丁寧な対応を要望。自然増となる医療費の適正な抑制のため、医療・介護の連携を図り地域包括ケアシステムの充実と高齢期の肺炎予防等の諸施策を求め賛成。



### 3年後の野田中廃止の見直しを

小出 亘 議員

**質問** 3月に計画が確定すると野田中学校が3年後に廃校になる。遠距離通学に自転車通学で対応しているが、現状の小学生の通学でも危険な状況である。生徒の安全が確保されない限り、統廃合は進められないのでは。

**市長** 安全な道を遠回りしてもらうか、スクールバスなどについて考える。

**質問** 対応がはっきりしないままの計画に市民は不信を抱いている。どちらにしろ生徒に大きな負担をかけるのでは。

**市長** 危険な道を通らないような方法を考えたい。

**質問** 8%への消費税増税で個人消費は25万円、実質賃金は、10万円以上落ち込んでいる。10%への増税に市民はたえられないのでは。

いのでは。

**市長** 消費税増税は社会保障のために必要である。

**質問** H28年の台風9号により入間川も増水し、氾濫の危険があった。危険性への認識は。

**市長** 今すぐ氾濫するとは考えないが、可能性が無いとも考えていない。

**質問** 西武公民館から、入間川沿いに上流部に通じる道路の改善の方向は。

**健康推進部長** 拡幅は考えていない。



今でも危険な通学路となっている中橋北側市道



### 外国人市民との共生社会・成人式

坂本 優子 議員

**質問** 外国人市民にとって、一番の壁は日本語の習得。日本語教室の実施状況は。

**市民生活部長** 平成5年から外国人市民の生活支援を目的とし、市国際交流協会と市の共催で日本語教室を実施している。市民スタッフは日本語を教えると共に、地域の情報提供など重要な役割を担っている。

**質問** 日本の災害知識を案内できないか。

**市民生活部長** 日本語教室で日本語を学びながら、日本の自然災害に対する知識を学習できる教材の作成・活用を検討する。

**質問** 4月より改正出入国管理・難民認定法が施行され、外国人市民の増加が見込まれる。多文化共生社会に対する見解は。

**市長** 日本の地域文化を理解してもらうこと、日本人市民は、外国人市民の出身国

の文化・宗教を理解した上で温かく迎え入れる気持ちが大切であるとする。

**質問** 外国人市民に向けた常設型生活支援の場の提供はできないか。

**市長** 今後、人口増加が予想される外国人市民に向けた支援策を拡充させることが重要。市国際交流協会と連携し検討する。

**質問** 「18歳成人」以降の成人式は。

**市長** 対象年齢等、広く市民に意見を聞き、早い段階で議論を行い決定したい。

【その他】災害時のトイレの確保



入間市成人式の様子



※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています



### SNS を活用したいじめ相談実施を

末次 正 議員

- **質問** 全国のいじめの認知件数は、H29年度は41.4万件で過去最多。本市の状況は。
- **教育長** 4月～12月で66件を認知。アンケート・調査方法の工夫で20件増加。
- **質問** 長野県のSNS相談件数は、電話相談と比較して2週間で2年分。認識を問う。
- **市長** SNSのメリットは理解する。
- **質問** 今の若者は電話よりSNSが連絡手段。時代の変化に対応した対策をとるべき。
- **市長** 相談体制構築と大きなマンパワーが必要。県の実証結果を研究したい。
- **質問** 公共施設の危険ブロック塀の改修状況は。
- **市長** 特に危険箇所については対応済。その他の箇所も改修作業を進めている。
- **質問** 近隣市では補助金で民間ブロック

塀改修の支援を行っている。採用すべき。  
**市長** 市の財政は厳しく、補助金等は考えていない。

**質問** C513号線整備に伴い、金子小と金子中の児童・生徒の安全のため、中央橋に歩行者用信号機設置を求める。

**市民生活部長** 今のところ車両通行量が信号機設置基準に達していない。

**質問** 今後、市道交通量増加と保育所移転の可能性があり、先手の安全対策が必要。

**市民生活部長** 状況を注視して対応する。



金子小と金子中の中の通学路の安全対策を



### 放課後児童対策・市役所等整備

内村 忠久 議員

- **質問** 毎年発生している待機児童に伴い特に対策の必要な豊岡・藤沢地区の学童保育室の整備の方向性について。
- **こども支援部長** 今年度、東町小第二学童を整備、来年度藤沢東第二学童、再来年度に藤沢北小学童の改修整備を予定。今後学校整備に合わせ、再整備を進めていく。
- **質問** 早急な施設整備や人員確保が困難であれば民間事業者の参入を視野に入れ学童保育室の待機児童解消を図るべきでは。
- **こども支援部長** 民設民営による学童保育室の導入に向けて調整を図っていく。
- **質問** 市役所・市民会館複合化と単独建替え案に関し市民の反応に違いはあるか。
- **総務部長** 複合化案は事業費が高額であり敷地内の駐車場の不足や交通動線の課題

が指摘され、それぞれの施設を単独整備することに変更し、計画内容の理解を得た。

**質問** 市民会館閉鎖期間中の市民活動団体の対応は。

**総務部長** 代替施設としてリサイクルプラザ・健康福祉センター・武蔵野音楽大学等の使用を検討・協議をしていく。

**質問** 市役所等整備への市長の決断は。

**市長** この決断が将来、市民へのツケではなく次世代への贈り物と確信している。

【その他】 防災行政 立川断層帯の存否



民間活力(PFI方式)の可能性についても検討



## 児童虐待をなくすために

古仲 リカ 議員

**質問** 要保護児童対策地域協議会について、職員配置や情報共有、検討会議状況や対応力向上研修の実施等の取り組みを伺う。

**こども支援部長** 職員は保健師2名。児相等の関係機関と情報共有。会議を51回開催し、研修会に適宜参加。虐待発生時は、こども支援課を中心に各課機関と連携、調整や協力を要請し支援を開始する。

**質問** 市の支援体制について、相談窓口の専門員と子育て世代包括支援センターの役割、未就園児の把握、189の周知取り組みについて伺う。

**こども支援部長** 保健師3名、社会福祉士1名、家庭児童相談員4名。妊娠届と母子手帳交付時等で早期発見支援へ繋ぐ。母子保健事業、出張事業、児相・市民から状

況を把握し各機関と連携。189は来年度通話無料予定。今後も引き続き周知を行う。

**質問** 要支援の妊婦の対応と乳幼児健診未受診、予防接種未接種の確認支援を伺う。

**健康推進部長** 地区担当保健師が電話と訪問支援、通知や家庭訪問で健診接種勧奨。

**質問** 学校認知の通告方法、教職員の研修と進学転校等学校間の情報共有を伺う。

**教育長** 学校協議後児相へ口頭通告、各校で研修実施、保幼小中高で途絶えず連携。

【その他】「どこから来たの?」の活用。



児童相談所全国共通ダイヤル189(いちはやく)厚生労働省資料より



## 小学校統廃合問題・ オスプレイ

佐藤 匡 議員

**質問** 学校が遠くなる児童が大幅に増える問題について、市長の見解は。

**市長** 入間市立小中学校の規模及び配置の適正化に関する基本方針では、小学校の通学距離は概ね4キロメートル以内としており、その上で通学の安全確保手段を策定するとしている。

**質問** 今集めている市民の意見に対して3月中旬に計画への反映というスケジュールは不可能ではないか。

**市長** 事業計画は予定通り3月末に確定したいと考えている。

**質問** 小学校は地域の要として残すべき。

**市長** 児童数の減少、施設の老朽化、財政状況等の対策が必要。教育の充実と適切な施設運営を進めていくため統合は必要で

ある。

**質問** オスプレイ飛行による入間市への影響は。また、学校環境への影響は。

**市長** 日米合同委員会合意事項で、人口密集地及び学校・病院等の上空を避けて飛行することは、合衆国の航空機の標準的な慣行であることがうたわれている。日米合同委員会合意が順守されるならば影響はないものと理解している。国に対して飛行経路、オスプレイの安全性についての十分な説明責任を果たすことを強く要望していく。



130周年を迎えた宮寺小学校



## 公共施設統廃合の計画は中止を

吉澤 かつら 議員

**質問** 入間市の2060年の人口目標は。

**市長** 合計特殊出生率の上昇や子育て世代の転入促進などで12万人としている。

**質問** 公民館は、戦後に民主主義と新憲法の精神を具現するための施設として設置された。公民館の役割についての見解は。

**教育部長** 社会教育法に基づき設置され、地域住民の社会教育のための施設である。

**質問** 公民館は公共施設マネジメント計画で地区センターとなる。社会教育法に基づく社会教育施設の機能と役割は守られないか。

**教育部長** 具体的な協議は今後していく。

**質問** 公民館として廃止され、自主運営となった場合の運営はどのようになるのか。

**市長** 今後、地域住民と検討していく。

**質問** 公共施設の統廃合となるマネジメント計画の市民説明会で、人口が2060年に約9万人に減ると説明していた。しかし、市の目標人口は12万人ではないのか。

**市長** 目標人口は12万人としている。

**質問** 統廃合よりも人口減少をくい止めるまちづくりを優先すべき。市民からも統廃合に反対の声があがっている。高倉の住民からは2030筆の署名が提出された。こうした住民意見への対応はどのようにするのか。

**市長** 計画策定につなげていきたい。

入間市の人口減少と目標人口
このまま人口減少が続くと2060年に約9万人に そこで①合計特殊出生率の上昇 ②若年層人口の転出抑制 ③子育て世代の転出抑制と転入促進 これらの取り組みで 2060年の人口を12万人程度にくい止める つまり入間市の目標人口は12万人！
[入間市人口ビジョン2015]より



## 有害物質除去・子供の均等割減免

安道 佳子 議員

**質問** 旧東町側留保地の造成工事で、有害物質のベンゼンやPCBが検出されたとのこと。有害物質の処理はどうか。

**市長** 廃棄物200kgのドラム缶を125本発見。

PCBとベンゼンを検出。ドラム缶は二重におお覆い、新年度予算で処理費用が確保される。鉛汚染も新たに検出との報告を受けた。

**質問** 報告が7ヶ月も遅れた理由は。

**市長** 情報提供が遅れたのは遺憾。北関東防衛局に、速やかな情報提供を要請した。

**質問** 造成地全域の土壌調査と安全確認がされるまで工事中止を要請すべきでは。

**市長** 法令に基づき汚染物質は処理の予定。工事中止の要請はしない。

**質問** 国保税が高すぎる。協会けんぽの保険料と比較してどうか。

**健康推進部長** 所得400万円の4人家族と比較すると国保税は年額33万4千円で協会けんぽは20万940円と大差がある。

**質問** 国保税が高いのは頭数で課税される均等割りのため。子どもも課税され、多子世帯ほど負担増。少子化対策に逆行。子どもの均等割りは軽減し、支援すべきでは。

**健康推進部長** 税負担の公平性から子どもの均等割り軽減は考えていない。

【その他】市庁舎と学校給食センターのPFI施工の問題について質問しました。

### 入間市の国保税と協会けんぽ保険料との比較

	国保税	国保税のうち均等割り+平等割	協会けんぽ	国保と協会けんぽの差額
与収入400万円 4人家族(30代夫婦 子供二人)	33万4千円	11万5千円	20万940円	13万3060円
給与収入240万円 単身者	14万900円	3万1千円	11万8200円	2万2700円
年金収入280万円 夫230万円・妻50万円 (65歳以上74歳未満の夫婦)	11万9500円	4万7200円	各児童相談所	+70人程度
※国保税には均等割り1人当たり4万円(40歳以上64歳まで) 1人当たり2万8千円(0歳から39歳まで) と平等割(一世帯当たり3000円)が課税されています。				+2,890人程度

※国保税の均等割り+平等割と国保と協会けんぽの差額がほぼ同額です。



## 風疹予防接種・ 児童虐待防止施策

向口 文恵 議員

**質問** 風疹は昨年から患者が急増。男性が8割で多くは30歳～50歳代の免疫の少ない世代。国の方針として重症化や妊婦感染防止のためワクチン接種の無料実施が決定。

①実施体制②休日や夜間診療時への対応は。

**健康推進部長** ①定期予防接種の機会がなかった39歳～56歳の男性に3年間抗体検査、ワクチン接種を市内外で無料実施。②今後医師会と調整、協議していく。

**質問** 相次ぐ児童虐待の防止に向け、市町村こそ虐待事案の最前線であることから今こそ市の体制を強化すべき。①市の現状と課題②早期に「子ども家庭総合支援拠点」の設置を③近隣5市連携協定の取り組み。

**子ども支援部長** ①迅速に対応できる体制を整備。課題はアセスメント様式の統一、

転出入時の見立ての差、専門員の不足。②早い時期の設置を目指す。③対面引継ぎ、情報共有とアセスメント様式の統一を図る。

**質問** 妊産婦をていーろーど・ていーワゴンの特別乗車証の対象にできないか。

**市長** まずは出産届け時を活用して、ニーズや実態の把握と有効性を検討する。

**質問** 近隣市と同様に、知的障がい者(児)へ、紙おむつ給付事業の実施を。

**市長** ニーズの把握や審議会の意見、予算等も踏まえ総合的に研究していく。

### ▶児童相談所の体制強化

	2017年度実績		2022年度目標	増員数
児童福祉司	3,240人	→	5,260人	+ 2,020人程度
児童心理司	1,360人	→	2,150人	+ 790人程度
保健師	140人	→	各児童相談所	+ 70人程度
合計	4,730人	→	7,620人	+ 2,890人程度

### ▶市町村の体制強化

子ども家庭総合支援拠点	106市町村	→	全市町村	—
要対協調整機関調整担当者	988市町村	→	全市町村	—

(注) 児童相談所数：212カ所(2018年10月時点)  
市町村数：1741箇所(2018年4月時点)

### 児童虐待防止対策体制総合強化プラン(新プラン)のポイント

県道とのY字路付近にコンビニエンスストアが開店した。通学路でもあるが、交通安全上の配慮は。(2)坂の下の大沢川に架かる『西武14号橋』の状態、架け替えの展望は。

**市民生活部長** (1)店舗の出入口の前を通らないよう、通学路を変更した。また、歩道に「横断注意」の表示を貼付している。

**市長** (2)経年劣化が進み、耐震基準を満たしていない。平成31年度当初予算で、測量費・予備設計費を計上した。地権者等関係者との協議・交渉を、進めて参りたい。



晴れた日、愛宕公園を南西から望む  
左側は『いるま池』、右側は『神明会館』



## 公共施設と緑地 仏子の幹線道路

宮岡 治郎 議員

**質問** 公共施設に隣接する緑地について。(1)博物館南側の館庭の活用実態は。(2)市役所南側の茶畑の状況は。(3)市民会館・中央公民館の、北東側の『愛宕公園』の効用は。

**教育長** (1)遊歩道はウォーキング等で親しまれている。茶室『青丘庵』は利用頻度が約40%。博学連携事業として、市内全中学校の一年生の授業で活用している。一般貸出では、年間延べ90団体が利用している。

**市長** (2)面積は約8アールで、4品種の茶を入間市茶業協会に栽培を委託。八十八夜新茶祭りや、二つの小学校の授業で、茶摘み体験を実施。(3)一体的な活用を考慮して整備した。施設利用者の散策等、相互の利用促進が図られ、付加価値を上げている。

**質問** 仏子の市道幹47号線について。(1)

※質問・答弁内容は質問者本人が要約しています



### 公共施設マネジメント・ 心筋梗塞

松本 義明 議員

- ・ **質問** 市役所等整備計画策定への決意は。
- ・ **市長** 市民の安全安心のため、施設利用者への早急な対応のため、速やかに進める。
- ・ **質問** 市役所整備費縮減を図るべきでは。
- ・ **総務部長** PFI方式等民間活力の活用について調査して、事業費の縮減や収入の確保について検討していく。
- ・ **質問** 市民会館整備の比較検討方法は。
- ・ **総務部長** 耐震改修事業費が建て替え事業費とコスト比較で変わらない場合は、公共施設の跡地等への移転新設について、近隣自治体との広域連携について検討する。
- ・ **質問** 宮寺小学校・狭山小学校の統合・再配置の方向性は。
- ・ **総務部長** 児童の通学状況などを考慮して、地域の間付近に新たな場所を求めて移

転新設することを第一案として取り組む。

**質問** 宮寺保育所・二本木保育所の統合・再配置の方向性は。

**総務部長** 地域での利便性を考慮して、地域の間付近に新たな場所を求めて移転新設することを第一案として取り組む。

**質問** 本市の急性心筋梗塞の状況と市民への啓発、早期発見などの具体的な対策は。

**健康推進部長** 本市の急性心筋梗塞の死亡率は、県の基準値より高く、特に女性は1.5倍である。対策については検討していく。



宮寺・二本木地区の間付近に移転新設を検討する宮寺小学校・狭山小学校



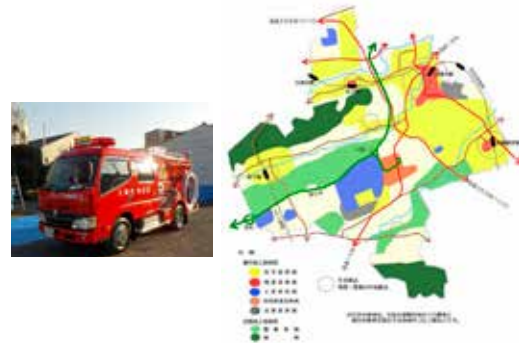
### 防災・消防団支援・ 公共施設跡地

長谷川 渉 議員

- ・ **質問** 台風被害の対応で、市内各自治会の協力と市の支援はどの様になっているのか。
- ・ **危機管理監** 台風24号では各自主防災会に協力を頂き被害報告を受けた。また、活動を強化するため防災講座を行っている。
- ・ **質問** 消防団活動への支援方針はあるか。
- ・ **市長** 出動手当の充実などで団員の処遇改善や資器材等の充実の強化に取り組んでいるが、団員の平均年齢の上昇やサラリーマン化が進むなど消防団を取り巻く環境は一段と厳しくなっている。消防団と意見交換しながら考えていく。また、本議会で可決されれば団員の準中型自動車免許等補助金交付制度により免許取得支援を行う。
- ・ **質問** 公共施設マネジメント計画で、整備後の跡地利用を示されているが現状の条

例では第1種低層住居専用地域に建てられるものか小規模店舗等と規制されているが、市として対応はどの様に考えているのか。

**市長** 市街化調整区域の跡地利用を検討していく中で土地政策が求められた場合等については、地域の方の意見を聴くなど事案ごとに丁寧に対応する。基本的には条例の変更や特例による対応ではなく、必要に応じて第6次入間市総合計画の基本構想にある土地利用について総合計画・後期基本計画の策定に合わせ、部分的見直しをする。



消防団車両と第6次総合計画



## 防犯カメラ付自動販売機設置を

金澤 秀信 議員

**質問** 私が平成23年9月と平成28年3月議会で提案した、低入札価格調査制度の公共工事費削減効果額の実績は。

**市長** 3年間で約3億1千800万円削減でき、市の財政に非常に貢献。感謝している。

**質問** 障害者雇用促進法の改正により、入間市でも市職員の採用基準を見直し、精神・知的障がい者も採用可能とすべきでは。

**市長** 採用にあたり様々な課題があるが、先進事例を参考に改善を検討する。

**質問** 私が平成29年6月議会で提案した、市内の屋外型防犯カメラの設置検討状況は。

**市民生活部長** 平成32年度に設置予定。

**質問** 市の財政負担がない防犯カメラ付自動販売機を市営無料駐輪場に設置して、自転車の盗難防止に役立ててはどうか。

**市長** 先進事例を参考に研究する。

**質問** 子どもたちの風邪やインフルエンザへの予防対策として、加湿器の設置などの対策を要望してきたが、改善が進んでいない。小学校保健室の加湿器設置状況は。

**教育長** P T Aの寄付により16校中7校。

**質問** 小中学校の乾燥対策として、まずは全校の保健室に設置し小学校低学年や中学3年生の教室などに先行配置できないか。

**教育長** 加湿器設置の他、マスク着用など総合的に対策を研究する。



自転車盗難防止対策が望まれる市営駅前駐輪場



## 制服の自由選択制・不育症

細田 智也 議員

**質問** 性的少数者・防寒・動きやすさにも配慮し保護者や子供たちの意見を踏まえ、全国的に性別に関係なく、自由に選べる制服を導入する学校が増加している。制服の選択制の拡がりに対する認識は。

**教育長** 性的少数者とされる生徒も含め、全ての生徒が生き生きと学校生活を送るためには、選択肢の一つとしてあってよい手立て。防寒・活動のしやすさ等の観点からも検討に値する取り組みである。

**質問** 市内小・中学生や保護者にニーズ調査は行わないのか。

**教育長** 一律には予定していない。独自に調査をしている学校もある。

**質問** 制服自由選択制の導入に対する見解は。

**教育長** 制服の自由選択制は有効であり、今後、あり方を研究していく必要がある。

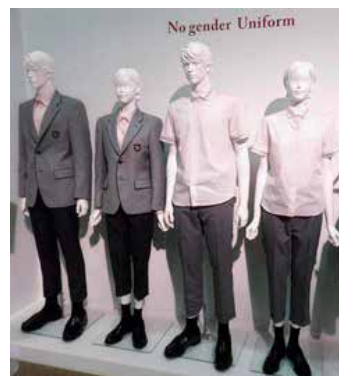
**質問** 不育症に対する市の認識は。

**健康推進部長** 流産や死産を繰り返し、悩んでいる方の相談に応じ、正確な情報を提供する必要がある。

**質問** 治療費助成制度の体制は。

**健康推進部長** 現在、治療費の助成は行っていない。まずは、不育症検査費助成事業の周知に努める。

【その他】男女混合名簿の導入を



制服の自由選択制の一例

# 議会人事

定例会最終日（3月19日）に横田淳一議長、鈴木洋明副議長から辞職願が提出されたため、正副議長選挙を行い、新たに宮岡治郎氏が議長に、松本義明氏が副議長に選出されました。

また、常任委員会委員等の選出を行い、さらに議会選出監査委員の選任議案に同意しました。

**議長に**  
宮岡治郎氏を選出

**副議長に**  
松本義明氏を選出

**監査委員に** 鈴木洋明氏

# 就任のあいさつ



議長  
宮岡治郎

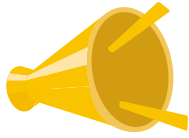


副議長  
松本義明

3月定例会において、議長・副議長に就任いたしました。市民の皆様の負託に応え、公正で公平な議会運営に努め、分かりやすい議会を目指してまいります。議会の役割は、地域住民の声を市政に反映させ、行政施策の監視機能を発揮することです。

今後も市民の立場に立って開かれた議会を更に進めるため、誠心誠意、職責を全うしてまいりますので、ご支援、ご協力をお願いいたします。

- |   |  |
|---|--|
| <p><b>埼玉西部消防組合議会議員</b><br/>永澤 美恵子      鈴木 洋明<br/>紺野 博哉</p> <p><b>埼玉県都市競艇組合議会議員</b><br/>宮岡 治郎</p> <p><b>入間西部衛生組合議会議員</b><br/>小出 亘              金澤 秀信<br/>小島 清人           横田 淳一<br/>平山 五郎           金子 俊雄</p> <p><b>瑞穂斎場組合議会議員</b><br/>安道 佳子           向口 文恵<br/>内村 忠久</p> <p><b>総務常任委員会</b><br/>◎ 紺野 博哉              ○ 長谷川 涉<br/>吉澤 かつら              細田 智也<br/>永澤 美恵子              小島 清人<br/>野口 哲次                平山 五郎</p> <p><b>都市経済常任委員会</b><br/>◎ 横田 淳一              ○ 古仲 リカ<br/>安道 佳子              向口 文恵<br/>坂本 優子              宮岡 治郎<br/>金子 俊雄</p> <p><b>福祉教育常任委員会</b><br/>◎ 末次 正                ○ 内村 忠久<br/>小出 亘                佐藤 匡<br/>松本 義明              金澤 秀信<br/>鈴木 洋明</p> | <p><b>議会運営委員会</b><br/>◎ 小島 清人              ○ 向口 文恵<br/>小出 亘                吉澤 かつら<br/>長谷川 涉              坂本 優子<br/>永澤 美恵子           紺野 博哉<br/>横田 淳一</p> <p><b>基地対策特別委員会</b><br/>◎ 紺野 博哉              ○ 長谷川 涉<br/>安道 佳子              佐藤 匡<br/>末次 正                向口 文恵<br/>古仲 リカ              坂本 優子<br/>横田 淳一</p> <p><b>公共施設最適化検討特別委員会</b><br/>◎ 金子 俊雄              ○ 内村 忠久<br/>小出 亘                吉澤 かつら<br/>松本 義明              細田 智也<br/>金澤 秀信              永澤 美恵子<br/>小島 清人</p> <p><b>議会広報委員会</b><br/><b>議会図書室運営委員会</b><br/>◎ 向口 文恵              ○ 古仲 リカ<br/>小出 亘                長谷川 涉<br/>内村 忠久              細田 智也<br/>小島 清人              横田 淳一<br/>野口 哲次</p> <p><b>議会防災検討委員会</b><br/>◎ 紺野 博哉              ○ 末次 正<br/>佐藤 匡                細田 智也<br/>野口 哲次</p> |
|---|--|
- ◎は委員長    ○は副委員長



# 入間市インタビュー 市民の声

## interview 1



### 伝統継承の担い手育成に危機

仏子  
小出 啓予 (福祉施設職員)

伝統芸能を継承するのに子供たちの育成は欠かせない。

仏子はやし保存会は神田囃子隠岐流の囃子を明治初期から140年に亘り伝承し仏子八坂神社に奉納している。継承の担い手である仏子囃子連若葉会に所属する子供たちは、仏子小学校の児童である。八坂神社の山車小屋で稽古を重ね、神社の祭典、万燈まつり、おとうろうまつり、仏子小PTA行事等で披露し、伝統芸能をしっかり継承し活躍している。川向こうの西武小では「お囃子クラブ」があり、野田の囃子継承の担い手となっている。

各地域で入間の文化、伝統芸能を守り継承している。素晴らしいと思う。

野田の囃子は「神田囃子流馬流」。西武小と仏子小が合併となると、仏子の囃子を継承する担い手の育成が途絶える危機。

## interview 2



### 損をして得をとれ

東藤沢  
安原 勝廣 (無職)

高速道路で車間距離を保ち走行していると突然、割り込んだり、料金所近くでスピードを落とすと左右から割り込んでくる。また、交差する一般道で先を譲ったり、狭い道で待つやっても、知らぬ顔で行かれたりすると「何だ、挨拶もしないで」今度は、絶対に譲るものかと、えらく損をした気分になる。でも、頭を冷やして考えれば、このように、譲られて挨拶も出来ない者に逆らって、無理に突込んだり、割り込ませなかったらどうなっていたか。おそらく、無事では済まぬだろう。だったら、順番が後になったり、多少の遅れで損をしたと思うより、長い目で見れば「安全」と言う大きな得をするのだから、やっぱり、譲り合いの精神で行こう。入間市東藤沢に住んで約35年。私は、この精神のおかげで安全に生活できているのだろう。



### いるま市議会だより No.186

表紙 / 豊水橋下の雉  
撮影 / 市民カメラマン 黒田 健治さん  
編集 / 議会広報委員会

◎宮岡 治郎 ○松本 義明  
小出 亘 末次 正  
長谷川 渉 古仲 リカ  
内村 忠久 細田 智也  
野口 哲次  
発行 / 入間市議会  
インターネットアドレス  
<http://www.city.irma.jp/gikai/>

## 6月定例会日程案

- 6月 4日 (火) 開会
- 6月10日 (月) 総括質疑
- 6月12日 (水) 総務常任委員会
- 6月13日 (木) 都市経済常任委員会
- 6月14日 (金) 福祉教育常任委員会
- 6月18日 (火) 一般質問
- 6月19日 (水) 一般質問
- 6月20日 (木) 一般質問
- 6月26日 (水) 閉会

※日程については、変更する場合がありますので、議会事務局へお問い合わせください。



問い合わせ ☎ 358-8511 埼玉県入間市豊岡一丁目16番1号 (04)2964-1111(議会事務局 内線 5112・5113・5114)